

逗子市議会議員

さざさか ゆうじ 活動レポート vol.15

～無所属で活動中～



■さざさか ゆうじ(勾坂祐二) プロフィール■

1970年2月14日生まれ A型 44歳 逗子市沼間1-8-2

沼間小学校卒業・逗子中学校卒業・私立横浜商工高等学校卒業(有) 勾坂豊店入社
07年逗子市商工会青年部部長・08,09年沼間小PTA会長・08年逗子市PTA連絡協議会会長・神奈川県PTA協議会常任理事・10年(社)逗子葉山青年会議所理事長
家族構成: 妻と長女(高校1年) 次女(小学4年) 長男(小学2年) 2010年3月に行われた、市議会議員選挙にて初当選 議会報編集委員長、基地対策特別委員長
現在、2期目 総務常任委員長、都市計画審議会委員 所属会派 市政クラブ

26年度第2回定例会報告

第2回定例会が6月5日～19日に行われました。

今回の定例会では、報告議案4件、26年度一般会計補正予算含む議案6件、人事案件4件、陳情12件、意見書案1件が審議されました。主な議案では、前回否決された、文化プラザ市民交流センター条例の全部改正(原案可決)(修正案否決)、補正予算では、(仮称)池子の森自然公園の整備事業、防災行政無線施設整備事業などが審議され、すべて可決しました。人事案件では、教育長が6月30日付で退任されることで、教育委員会委員の任命、また監査委員の選任など審議され、すべて可決しました。改選後初めての定例会のこともあり、15人の議員が一般質問を行いました。私も選挙で訴えてきた市政の課題などについて、市長及び教育長に対し、8項目にわたり質問をしました。

一般質問において市内小中学校の学力向上の取り組みについて教育長に質問

Q 市内小中学校の学力向上の取り組みと教員の年齢構成の現状と経験値における今後の対応は?

A 学力の向上のためには、教員がわかる授業を行い、それぞれの子どもたちの持つ課題についての確に支援していくことが必要。教師が教材研究を行い、子どもたちの実態に応じた授業を企画し、構想することから始まり、子どもたちの状況に応じて適切に指導し、授業を振り返って成果と課題を的確にし、次の授業の改善に向けて取り組んでいく。県や市の教育委員会等で実施する研修への参加、現在、本市が市費で派遣している少人数指導教員・教育指導教員の学校現場での教員の指導力の向上を図っていきたいと考えている。授業以外でも夏季休業期間の補修など支援している。

逗子市立小・中学校の教員の年齢構成と経験値 (管理職・非常勤職員を除く)

年齢	小学校	中学校
20代	26.3%	15.3%
30代	33.0%	27.7%
40代	12.7%	16.7%
50代	28.0%	40.3%
経験年数		
10年以下	67.8%	54.2%
11年以上20年以下	11.0%	5.6%
20年以上	21.2%	40.2%

小学校では、特に若い教員が多く経験10年以下が67.8%になっています。また、中堅層の教員が少ないこともわかります。学力向上には、少人数指導・教育指導教員の拡充が必要だと私は考えます。現在の市の財政状況からも市費だけでは、とても難しいです。教育委員会も県費で教育指導員として各校に派遣してもらおうように県に要望していきたいと考えています。

交通不便地域の解消策

高齢化が進む逗子市では、交通不便地域での高齢者の移動手段として、路線バス、ミニバスの拡充など様々な地域から要望があがっています。高齢者が安心して暮らしていけるまちとして、交通不便地域の解消に向けた取り組みが必要だと考えます。平成17年に逗子市交通計画が策定されていますが、交通不便地域の対応は具体的に記されていません。新たに地域公共交通連携計画などを策定し、その地域に必要な公共交通の姿を明らかにする必要があると考えます。



他市のコミュニティバス

東逗子地区のまちづくり

東逗子地区は、中心を田越川が流れ、近年では6月ごろにはホテルも見られ、自然環境にとっても恵まれています。東逗子駅周辺地域の活性化というものは、大きな課題だと捉えています。現在、東逗子駅前の土地開発公社が所有している土地の活用、それによる東逗子地域全体の活性化というものをしっかりと議論して位置付けなければいけないと考えます。平成27年度から始まる総合計画を策定する中、地域住民の意見を取り入れて進めていかなければなりません。



東逗子駅前ふれあい広場

地域自治システムの構築に向けて

地域自治システムの構築に向けて、地域の住民の相互の連携と協力のもと、地域の課題解決と地域の個性や実情に応じたまちづくりの実現を目的として、住民自治協議会設立のための制度が示されました。今後は、「逗子市住民自治協議会等に関する要綱」をもとに準備が整った地区から、地域の実情に合わせた協議会が作られていきます。現在、沼間小学校区と小坪小学校区で準備会が立ち上がり、協議会設立に向けて進んでいますが、制度をつくった行政側と実際運用していく住民との考えと齟齬が生じているとも感じています。財政的支援、人的支援、活動拠点の支援、実施事業など具体的な形が見えず、まだ課題も多いと考えます。

明るく安全・安心なまちづくりの推進

明るく安全・安心なまちづくりの推進を図る目的で、市民の生活道路の必要な場所に街路灯を設置しています。ここ数年、自治会管理の街路灯廃止や商店会管理の街路灯廃止により商店街の街路灯が撤去され、市民から暗くて危険などの声が私のところにも多く寄せられています。現在、商店会の財政状況が厳しく街路灯の管理運営に支障をきたしているようです。市内全体での街路灯の見直し(一括市で管理する等)が必要ではないかと提案したところです。



皆様の声を聞かせて下さい。市政に対するご意見、ご要望をお待ちしています。

御名前

御住所

連絡先